

こんな活動です

シビック・プライドの醸成 ～まちの課題を「自分ごと」としてとらえるために～

山口県防府市	●活動名	●関係する学校名
	防府商工高等学校運営協議会	山口県立防府商工高等学校

協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	無
			平成29年4月1日設置		
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成		
	—	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	—		1人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	ICT機器活用		
	—	有	有		
参考URL	http://www.hofu-ct.vsn21.jp/				
●連絡先	山口県立防府商工高等学校		☎ 0835-22-3790		



●活動の概要・経緯
本校は前身の防府商業高校時代から「社会人基礎力の育成」を重点目標とし、「シビック・プライド」の醸成に向けて、教育活動の柱に地域連携教育を位置づけ、地域を学びのフィールドにした「イベント企画」「コンテンツ開発」「オリジナル商品開発」等を実施してきた。こうした実践的活動は、高い職業意識・職業観と規範意識、コミュニケーション能力を育みながら、社会の様々な変化に積極的に向き合い他者と協働して課題を発見・解決する力を育成している。平成24年度から校務分掌に地域連携を担当する「未来デザイン部」を設置して、地域連携教育の体系化と組織的・継続的な取組を行うことが可能な体制を整備している。最大の学校行事となっている「天神まちかどフェスタ(写真はオープニングセレモニー)」は、毎年10月に全校生徒が地元商店街を中心に行う販売実習で、第17回となる令和元年度の「防府スイーツマルシェ」では大勢の人でにぎわった。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

山口県の方言である「幸せます」を地域ブランドとする企画を提案し、地元の防府市と連携して「幸せますのまち防府」をスローガンにまちづくりを進めるために、学校内に「知財マネジメント研究センター」を設置し、防府商工会議所や地元企業等、関係機関と連携しながら実践的活動や人材育成を行うための仕組みを構築した。3年商業科120名が25グループを形成して年間を通じて地域の事業所の模擬社員として活動を行い、3年情報処理科40名が防府市高校生職員として、来年度の施策を企画・提案している。また、ふるさとパワーアップ班は、「カメラ女子部」として防府のまちの幸せ再発見をInstagram等で情報発信している。

【実施に当たっての工夫】

地域から学校に対して、三つの課題「継続性はあるのか・生徒にどのような力が身に付くのか・地域は活性化するのか」が提起されたことを機に、毎年、地域の課題解決のための具体的な取組や、生徒の「シビック・プライド」醸成に向けた実践的活動の改善・充実を図っている。

【関係機関・団体等との連携状況】

本校は、平成29年度から学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールの仕組みを生かし、首長部局・防府商工会議所の職員、地元企業等の経営者を運営協議会の委員として委嘱し、地域連携教育をはじめとする学校運営に関する意見交換、提案等を踏まえながら、学校と地域が連携・協働した取組を計画的・系統的に実践している。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

上記の仕組みや体制の整備を通じて、組織的・継続的な取組が可能となるとともに、計画的・系統的かつ実践的な教育活動を展開することによって、「社会人基礎力」で示されている「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの力を育むことにつながっている。これらの一連の実践は、人口減少・地方創生という我が国が抱えている今日的な課題の解決に大きく貢献する取組であり、地域振興や人材育成の面でも実績を高く評価され、地域社会からの期待も大きい。

●その他

山口県が掲げている「社会総がかりによる『地域教育力日本一』の取組」の代表的なモデル事例として、適宜、情報発信を行っている。



地域のイベント企画・開発・企画



防府市高校生職員として提案